

▽求める教員像及び教員組織の編制方針

東京未来大学は、「ミッション・ビジョン」、「教育理念」及び「教育の目的」を実現するため、「求める教員像」と「教員組織の編成方針」を定める。

▽求める教員像

東京未来大学は、「ミッション・ビジョン」、「教育理念」及び「教育目的」を実現するため、以下のとおり「求める教員像」を定める。

- 「ミッション・ビジョン」、「教育理念」及び「教育目的」を理解し、大学の方針に賛同できる者
- 大学における教育を担当するに相応しい教育上の能力があり、その向上に努める者
 - － 双方向授業等の魅力ある授業を展開できる者
 - － 学生や教職員等の意見を真摯に捉え、自らを改善する意思がある者
- 教育・研究・社会貢献・大学運営等のあらゆる活動において積極的に学生と関わり、教職員と協働できる者
 - － 学生支援と大学の発展に対し、進んで貢献する主体性と実行力がある者
- 研究上の業績あるいは専攻分野に関する高度な実務上の能力・経験を有し、これを継続して積み上げる意思がある者

▽教員組織の編成方針

<大 学>

東京未来大学は、「ミッション・ビジョン」、「教育理念」及び「教育目的」を実現するため、以下のとおり「教員組織の編成方針」を定める。

- 大学設置基準等の関係法令に基づき、教育研究上の専門分野等の特色やバランスを考慮した上で、各学部学科等の教育目的を実現するために必要な教員を配置する。
 - － 教員間もしくは教育研究センター等の連携体制を確保し、組織的な教育研究活動を行うために、教育課程や大学運営等において適切に教員を配置し、役割を分担する。
- 教員の構成にあたって、職位・年齢・性別等に配慮する。
 - － 教員の採用にあたっては、広く公募することで人材を募集し、大学が定める諸規程に基づいて公正に選考する。
 - － 教員の昇任等にあたっては、大学が定める諸規程に基づいて適正に行う。
- 組織的な FD 活動と SD 活動を行い、教育研究水準の向上及び業務遂行に必要な能力・資質の向上を図る。

<学 部>

こども心理学部（通信教育課程を含む）

東京未来大学が定める教員組織の編成方針に基づき、以下のとおり教員組織を編成する。

(1) 専門分野・教員配置

○ 一般教育及び専門教育の整合性を重視し、各専攻の専門領域における優れた研究業績とコミュニケーション能力を兼ね備えた教員を任用し配置する。これらは、深い教養の涵養、アクティブ・ラーニング、課題解決学習等を通して、「日本の未来を担う子どもの豊かな成長を、家庭、学校、地域社会及び、それらを取りまく文化との相互関係という視点から捉え、単に知識や技能を修得するにとどまらず、人間性を高める教育を併せて展開することにより、真に社会に役立つ人材を養成する。」という学部学科等の教育目的を達成するためのものである。

① 心理専攻にあっては、子どもを中心としたあらゆる年代の人の心理学に精通し、実社会で活躍できるような人間性や心の豊かさを備えた学生を教育するために、必要な教員を任用し配置する。

— 心理学の専門領域における優れた研究業績を有し、臨床心理学、発達心理学、社会心理学、認知心理学を軸とする、それぞれの分野における確かな専門的知識と豊かな学術的探求心を持ち合わせる教員を任用し配置する。

— 心理学の研究成果をもって社会の発展に寄与し、広く社会に貢献する能力と人間性を備える教員を任用し配置する。

— 公認心理師資格にかかる関連法令及び養成課程に配慮し、適切な教員を任用し配置する。

② こども保育・教育専攻にあっては、子どもたちの健全な成長・発達・学びを促すために必要となる、子ども理解に根ざした「高度な専門知識と技能」とともに「豊かな心」を併せ持った保育者・教育者を養成するために、必要な教員を任用し配置する。

— 上記の目的を達成するために、関連する専門分野に関する研究業績と深い教養を備えた教員を任用し配置する。

— 小学校教諭免許、幼稚園教諭免許、保育士資格等にかかる関連法令及び養成課程に配慮し、適切な教員を任用し配置する。

(2) 教育課程や学部運営における教員の役割分担

○ 教育課程の責務及び学部・学科・専攻の役割については、業績・実績・経験に基づき分担する。

— 研究業績及び教育実績に基づいて教育課程の責務を分担する。

— 経験と実績に応じて学部・学科・専攻運営の役割を分担する。

(3) 教員構成

○ 教育研究や大学運営における適切な教員の役割分担を可能にする。

— 広く国内外に人材を求める。

— 年齢・性別構成が偏ることのないよう配慮する。

(4) 教員人事

○ 教員の構成にあたって、専門分野・職位・年齢・性別等に配慮する。

— 教員の採用にあたっては、広く公募することで人材を募集し、大学が定める諸規程に基づいて公正に選考する。

— 教員の昇任等にあたっては、大学が定める諸規程に基づいて適正に行う。

(5) 教員の資質向上

○ 学生との積極的な関わりの姿勢、学生の研究指導能力に重点を置いて教員の資質向上を図る。

- これらの能力、資質を向上させるためのものとしてFD活動・SD活動を位置づける。
- 教育職員とエンロールメント・マネジメント局職員の連携の下、学生に積極的に関わる。

モチベーション行動科学部（通信教育課程を含む）

東京未来大学が定める教員組織の編成方針に基づき、以下のとおり教員組織を編成する。

（1）専門分野・教員配置

- 大学設置基準等関連法令に基づくとともに、教育研究上の専門分野等のバランスを考慮しながら、東京未来大学の「ミッション・ビジョン」、「教育理念」及び「教育目的」を実現するため学部として必要な教員を配置する。その際、本学部の「ディプロマ・ポリシー」、「カリキュラム・ポリシー」及び「アドミッション・ポリシー」に従い、教育職員免許や公認心理師受験資格等の各種資格の取得を支援できるよう勘案し、社会から求められる職業人の養成に資する人材配置に考慮する。
- さらに、地域連携・地域貢献に資する教員の配置を積極的に行い、理論と実践をバランスよく理解し探求出来るよう工夫する。心理・コミュニケーション科目群、経営科目群、教育科目群の各科目群に上記で求める専門教員を中核に据え、大学における産官学活動・キャリア教育への積極的な関与が可能な教員の配置を行う。

（2）教育課程や学部運営における教員の役割分担

- 教員間の連携体制を確保して組織的な教育研究活動を行うために、教育課程編成や学部運営等において適切に教員を配置し、役割を分担する。

（3）教員構成

- 教育研究水準の維持向上及び活性化を目的に、教員組織の多様性（ダイバーシティ）と包括（インクルージョン）に留意して、広く国内外に人材を求め、年齢・性別構成に配慮する。

（4）教員人事

- 教員の採用、任用、昇任にあたっては、大学が定める諸規程に基づいて適切な手続きに従って透明性を担保すると同時に、説明責任を果たせる適正な人事を行う。

（5）教員の資質向上

- 各教員は、自らの教育の質の保証を行うため、組織的かつ多面的なFD活動・SD活動を行い、PDCAサイクルに従い自律的に授業評価及び不断の改善を行う責任を持ち、絶えず教員としての資質向上を図る。

以上